

苫東環境コモンズの
活動をまとめて報告



haskap

NEWS LETTER

～ コモンズの現地から発信する～

勇払原野のSPIRIT

コモンズの視線

会員の皆様には半年以上のご無沙汰でした。これは当NPOが沈滞している表れ、では全くなくて、正直なところは逆モード、雑務のオンパレードがこの間ずっと続いていた、とお察しいただければ幸いです。毎週のほとんどの活動や出来事はデイリーニュースとしてホームページにアップしていますので、閲覧可能な方はどうぞ下記 URL から覗いてみてください。なお、リニューアルしたパンフの表紙画像は、そのまま 25 年度下半期の記録が中心に構成されています。(事務局：草苅)

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/hayashi-kokoro/commons00.html>

TOPIC 1

昨夏、薪小屋に着手して 2 月竣工

大島山林を定期的の間伐していけば必ず生産されるのが枯れ木を含む多くの薪。これをこれまではブルーシートでカバーしていましたが、なんとか自前の薪小屋で保管できないか。土地のオーナーの了解を得てこれに着手したのが昨年 8 月。まず土台の丸太を切り出し皮むきから始めて、完成したのが年明けの 2 月末でした。建設は会員・小山さんの設計図をもとに小山・甲斐のコモンズの棟梁が中心になった総力戦でした。



結果、スノーモービルと薪割機の格納庫を含む 10 ユニットができました[写真上]。1 ユニットには約 6 立方 m (1 年分) が収まり、会員用の仮置き場と有償分譲用薪のショウウィンドウとなります。コカ・コーラさんのご寄附の一部を当てました。

TOPIC 2

苫東「つた森山林の管理方針の調査」を受託
当 NPO では設立以前からの関係者(草苅)が苫東地域の緑地の取扱いについてアドバイスをしてきましたが、このたび、苫東の緑地の拠点「つた森山林」の管理方針を検討し指針を立てるコンサル業務を受託しました。

検討に参加したのは、関連する技術士の資格を持つ NPO 会員 3 名(孫田、鈴木、草苅)で、これに北大大学院農学研究院の矢島崇教

授に加わってもらいました[写真下]。



調査業務の報告会が 4 月 8 日苫東会社で開催され、苫東の環境条件に立脚し生物多様性に配慮した「積極的な放置」「植えない森づくり」など、新しい概念を提案しました。この指針に基づき、苫東会社では早速作業の実施に向かう考えです。

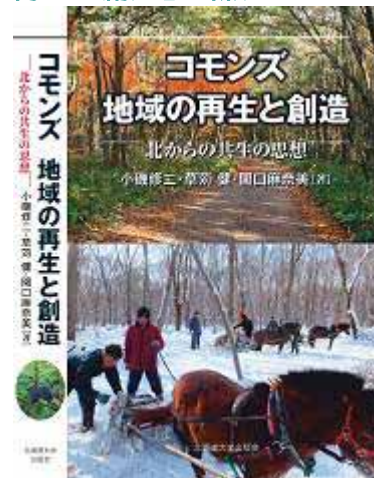
TOPIC 3

～当NPOの事例を紹介した新刊～

『コモンズ 地域の再生と創造』出版

年明けの 1 月 10 日、北大出版会から表記の新刊が発売されました。当 NPO・苫東環境コモンズの背景と活動、課題等を軸に、コモンズのコモンの概念や国内外の事例とともにまとめられたコモンズの入門書。

第 1 編の総括的提言は北大公共政策大学院教授でコモンズ研究会の座長をされている小磯修二氏、第 2 編では草苅が地域におけるコモンズの展開を詳しく記述しています。第三編



の国内外の事例は関口麻奈美氏とわたしが分担。この内容は、1 月 15 日の北大公共政策大学院セミナーで報告したほか、5 月末は苫小牧でコモンズフォーラムを開催（次に詳述）の予定。新刊は本体価格は 2,600 円、通販で直接購入が可能です。

TOPIC 4

ハスカップをテーマにフォーラム開催

上記トピック 3 で紹介したハスカップフォーラムを 5 月 31 日土曜日午後 2 時から苫小牧市サンガーデンで開催します。当 NPO とコモンズ研究会（北海道開発協会）の共催で、通算 5 回目。

このフォーラムは上記新刊の第 2 編最終節で触れた「ハスカップ・イニシアチブ」をうけたもので、わたしたち NPO がハスカップ・サンクチュアリと命名した原生地が自然乾燥によって一部が枯れ始めている現状について、当 NPO を含む現場の環境サイド、栽培者、そして食品分析・加工・流通までの各関係者が集い、ハスカップの新時代を占うもの。ハスカップをコモンズの資源(CPRs)、地域資源としてとらえ直して、持続的な保全策を市民サイドとして考えようというものです。

なお、参加は無料で、NPO スタッフが会場準備、受付を行います。お申し込みは事務局まで。

昨年 9 月からの活動の報告

各行事末尾の数字は参加者数

- 9/07 sat 薪小屋の段取り作業、穴掘り、柱の確保、皮剥きなど + 柱用丸太生産 3 pm6:30 町内会との懇談（瀧澤理事 & 事務局）
- 9/14 sat 薪小屋 穴掘り & 丸太運搬・薪積み・江別へ運搬 6

- 9/21 sat 薪小屋づくり、薪小屋周りの刈り払い、柱の皮むき、24 年度の新ルート刈り払い 4
- 9/28 薪小屋づくり。皮むき、基礎。仕事に疲れて、2 時以降は小屋でキノコ探索。 5
- 10/5 薪小屋制作。皮むき。新ルートの伐採、大木テーピング。 3



- 10/12 薪小屋制作。つづいて ナメコ採り 6
- 10/17 北大矢島教授をつたもり山林、大島山林など案内(苫東の緑地管理計画調査関連)・事務局 2
- 10/19 sat 雑木林ケアセンターの大掃除(inaba, 草苺) & 薪小屋制作 (oyama & kai)、柏原試験地のドロノキ間伐(草苺) 4
- 10/26 sat NPO 総会@ケアセンター、キノコの勉強会(講師; oyama) 14



- 10/31 北大生から苫東コモンズに関するインタビューを受ける(草苺)
- 11/2 sat チェンソーのスキルアップセミナー@小屋(講師; abe) 7



- 11/3 & 4 9:00-- 薪販売のための袋詰め@大島山林広場 薪組合 4+1+ウッディーズ 0
- 11/6 wed 企業の修景作業 C S R 支援@つたもり山林(草苺)
- 11/8 fri ハスカップフォーラムについて関係者@高専と打ち合わせ(事務局・草苺)
- 11/9 sat 薪小屋制作 と柏原試験地 5
- 11/10 sun 植苗病院の森林療法対象地の間伐風景撮影(草苺)総会欠席者および団体会員に資料送付
- 11/13&14 wed/thu つたもり山林の管理にかかる受託事業の現地踏査(孫田理事、草苺)
- 11/13 企業の社会貢献の修景作業支援について

業界紙からのインタビュー対応（事務局）

11/16 sat 薪小屋制作、札幌ウッディーズと合同作業、6+11 19:00 遠浅町内会に NPO 説明会（事務局）

11/23 sat 薪小屋制作、柏原試験地、ハスカップサンクチュアリのハンノキ伐採 報道関係者案内 8

11/24 sun 北大苫小牧研究林のオンコ作業（草苺）



11/30 sat 薪小屋制作、前進基地完成 4

12/07 sat 薪小屋制作 6

12/14 sat 薪小屋 14:00 山ノ神

参拝と苫東ウッディーズの忘年会 6

12/16 mon 10:00am コカコーラ助成の寄付金贈呈式@札幌清田区（原口代表&事務局）2

12/21 sat スノーモービルの納品と講習&薪小屋制作 6



12/28 sat 仕事納め 2



1/4 sat 仕事始め（自由参加。草苺はこの日から林の間伐に専心。薪小屋の方は棟梁の元に必要に応じたサポートをし、小屋制作と間伐を並行）

1/10 fri 北大出版会から『コモンズ 地域の再生と創造 ~ 北からの共生の思想 ~』発行 第 2 編「コモンズの地域展開」で苫東環境コモンズの取り組みを全紹介

1/11 sat 間伐、本格着工 2

1/15 wed 北大公共政策大学院のコモンズセミナーで事例報告（pm 北大百年記念会館、草苺）50 事実上の出版記念

1/18 sat 大島山林の間伐に町内の応援部隊参加。7

1/25 sat コープさっぽろ森づくり交流会で活動報告（原口代表と事務局参加）、苫小牧サテライ

トは inaba、nakatsu、薪小屋制作（oyama、kai、ほか）町内会和田さんが間伐へ

1/26 sun 大島山林の間伐 1

2/1 sat 大島山林の間伐&運材、スノモ車庫の屋根完成 7

2/2 sun スノモ車庫の屋根作業、運搬用 3 ルートの通行テストと雪面転圧 2

2/5 wed F M北海道から活動インタビュー@札幌

2/6 thu 「つた森山林の取り扱いに関する検討会」受託業務関係@札幌 3

2/8 sat 大島山林、運材試行。苫小牧市博物館 k さんが枝採取 12

2/9 sun ポニーによる馬搬 8



2/15 sat 大島山林の間伐 10

2/16 sun F M北海道（Air-G）AM7:30 から「スマートライフ」（コープさっぽろ提供）に草苺出演

2/22 sat 大島山林間伐、薪材運搬、薪小屋竣工 7

2/26 wed 「つたもり山林管理方針検討会」第 2 回目 WG @北海道開発協会ライブラリー 4

3/1 sat 大島山林 11 & 運営委員会兼薪小屋竣工祝い 10

3/7 fri 恵泉女学院 M さん一行（コモンズ研究者）視察とヒアリング（草苺）

3/8 sat 大島山林新ソリ到着稼働 7

3/10 mon 受託調査成果報告 26 年度事業計画協議（株 苫東）草苺

3/15 sat 大島山林 7

3/22 sat 大島山林 運搬 7

3/25 tue 大島山林 2

3/29 sat 大島山林・今季の薪運搬を完了 9



3 月末、日差しはもう春

平成 26 年度

4/5 sat 大島山林で薪割り開始 7

4/8 tue 受託事業「つた森山林の管理計画調査」
報告会@苫東会社(孫田理事、鈴木会員、草苺事務局長) 34/12 sat 植苗病院の保育とフットパス整備作業、札幌
ウディーズさんと合同(道具はチェーンソーと刈り払い機) 6+18

4/19 sat 大島山林の薪切り、薪割り 10

4/22 tue 「つたもり山林」の管理手法について(株)苫東
と現地打ち合わせ(草苺)

4/26 sat 薪割り 薪積み 6

編集後記 //////////////余白を埋める独白////////////////////

25 年春からのちょうど 1 年を振り返ってみました。脳裏によみがえってくる主なものは、ハスカップ調査、作業の機械化、コモンズの出版、そして薪小屋制作。作業の機械化はメンバーの高齢化に合わせて、これまですべて人力に頼っていたものを、薪割は薪割機に、材の運搬はスノーモービルと鉄製のそりに肩代わりさせたものです。効果はてき面で、連休前に作業の終わりが見えたのは今年が初めてです。

薪小屋制作に足かけ約 7 か月を要したのはやや予想以上だったかもしれません。といっても週末のみ通算約 21 日間、だれかが作業についていた、という感じですから、稼働時間としては効率的に進んだとみてよいと思います。

ハスカップ調査のGPSや機械各種、薪小屋資材、これらはコープさっぽろさんとコカ・コーラさんの助成や寄付があったのでした。当NPOはスタート時から、貴重な寄付をいただいて始まりましてので予算の心配はなく、さらに毎年の会費収入を土台にした予算内で進める算段だったためお金に困ったことは一度もありませんでした。ただ、なにか、新しいチャレンジをする、という場合のこういった支援はまことにありがたいもの。今後も機会を見て外部に資金をお願いするつもりです。そしてさらに、機械器具を購入した折に留意すべきことは修理費。これからは内部留保も心がける必要があります。

25 年のシーズンの人的な特徴は遠浅町内会との関係です。当NPOが森を壊しているというような噂がたっていたこと、町内会の役員が交代したこと、を契機に、町内会幹部に9/7、町内会の方々には11/16に説明会を行い、どうにか、遅れ

ていた町内会へのNPOの周知がなかった格好になりました。本当に、誤解が解けたのかどうか不安があったのは事実ですが、その後、町内の5名の方が支援会員としてNPOに参加され、そのうちお二人は間伐作業に加わってくれたばかりでなく、雪が降る旅の除雪や、悪路になった搬出の修復、材の運搬もトラクターなどでバックアップしてくれことになりました。これは何より明らかな関係改善かととらえています。

雑木林は生物多様性の宝庫だといわれますが、手入れして里山風に仕上がってきたケアセンター周辺に、昨年来、新しい生き物が顔を出しています。昨年秋はペアのエゾリス。番(つがい)か親子かはわかりませんが、ともかく、小屋裏の枯れ木などで戯れています。またこの4月は、小屋の軒先にタヌキが登場。もしかすると、小屋の床下をめぐらしていた可能性もあります。コウモリ、ヘビ、ネズミ、ウサギ、このほかここ1、2年はエゾシカが小屋の周りで落ち葉を荒らしています。落葉食が始まっているという報告があるので、その痕跡かと観察しています。

苫東の黎明期に、事業本部の現場を采配し港の埠頭運営の基礎をつくる一方、サイドビジネスとしてハスカップ事業などを手掛けられた道庁出身の浅井正敬氏がこの3月、90歳半ばでご逝去された。昨年の連休のころ、なぜハスカップ保存と商品化に着手されたのかなど、一度はお聞きしておくべきと考え、NPOの中條監事とお邪魔したのでした。会社は、当然のこととして商売をしなければならないという浅井持論からすれば当然のことだったわけですが、話のついでにNPOのことになり、「利益はどうやって得るのかね」と聞かれた。「専従職員などを雇用しないつもりなので、儲ける事業を想定していない。純然たる奉仕活動です」と申しあげたところ、ちょっといぶかしく思われたようで、それがとても印象に残りました。もっと突き詰めてお話しすれば、社会が「新しい公」を求めて揺れている、そんな実験のさなかだと申し上げることができたかもしれない。今となっては感謝をこめてただご冥福をお祈りする次第です。

勇払原野や苫東に限定した調査とかコンサル業務はこれから研鑽をつみつつ励まねばならないテーマ。特にこのたび苫東に提案した「この森林をどう扱えばいいか」の核心部分は、かなり先進的な、逆を言えば行政からはとても嫌がられる的を衝いたものとも言えます。いよいよ、その本丸にこだわりを捨てて虚心坦懐に挑戦してみる……。これはここだからできる貴重な実験だと思われ流れ次第では波及効果も。(草苺)

お問い合わせ

NPO 法人 苫東環境コモンズ 事務局

草苺 kt-884-556@nifty.com

携帯 090-6999-2765